

## 事務局説明

令和4年7月21日(木) 教育委員会

---

---

### 3. デジタルを活用した学びの推進について

**3 - 1 本市のGIGAスクールの取組み**

**3 - 2 デジタルを活用した学びの今後の方向性**

## **3 - 1 本市のGIGAスクールの取組み**

- 1) 岐阜市版G I G Aスクール推進計画について**
- 2) 実施施策と推進スケジュール**

# 「デジタル・シティズンシップ教育」と「教育DX」の概念に基づく 岐阜市版GIGAスクールの更なる推進

**基本方針1**  
誰一人取り残さない  
個別最適な学び・協働的な学びの充実

**基本方針2**  
教職員の働き方改革

**目指す姿**

<p><b>教職員</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもにより深く向き合う時間の確保</li> <li>・質の高い教員や教育の確保</li> <li>・より効率的かつ効果的な指導</li> <li>・ワークライフバランスの充実</li> </ul>	<p><b>児童生徒</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自ら探究し発信する力の育成</li> <li>・学ぶ意義や楽しさの実感</li> <li>・学びと社会の繋がりの実感</li> </ul>
---	--

子どもたちが変化を前向きに受け止め、豊かな創造性を備え、持続可能な社会の創り手として  
予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するための**資質・能力の一層確実な育成**

**基本方針3**  
児童生徒の健康面の配慮

**基本方針4**  
デジタル環境の最適化

**基本方針5**  
デジタル人材の育成

オール岐阜市学校体制で計画的に推進

# 2) 実施施策と推進スケジュール

準備期間 (研究・検討・実証・調達) → 学校への展開

基本方針		推進施策	推進スケジュール			
			R3年度	R4年	R5年度	R6年度
基本方針1 誰一人取り残さない 個別最適な学び・協働的な学びの充実	① 日常的なデジタル活用による誰一人取り残さない個別最適な学び・協働的な学びの実践	継続実施 施策検討		研究実証	デジタルを活用した 学びのモデル検討	
	② 基礎的・基本的な学習内容の定着	施策検討 モデル校実証		研究実証	講義学習型学習支援ソフト 活用開始	
	③ 企業や学術機関・地域と連携した学校と社会を繋ぐ学び	施策検討			環境学習パッケージ 構築・展開	
基本方針2 教職員の働き方改革	④ 会議・研修・情報伝達・共有における事務の効率化	継続実施			更なる充実	
	⑤ 学校と保護者・地域間の連絡の効率化と利便性向上	施策検討 モデル校実証			学校と保護者を繋ぐ連絡アプリ 運用開始	
	⑥ 教職員勤怠管理の更なる適正化	施策検討 モデル校実証			クラウド勤怠管理システム 運用開始	
基本方針3 児童生徒の健康面の配慮	⑦ ICTを活用した『子どもの健康』サポート	施策検討		開発・実証	子どもの健康サポートアプリ開発 ⇒モデル校で実証開始	
	⑧ 学校健康診断情報のPHRへの活用				国の工程表に沿って推進	
基本方針4 デジタル環境の最適化	⑨ 多様な学びの姿に柔軟に対応できる未来の教室づくり	施策検討 モデル校実証		研究実証	最新の大型提示装置 研究校へ先行設置手配 (8月末導入完了予定)	
	⑩ 効率的かつ堅牢な校務系デジタル環境の最適化				令和7年度の刷新に向け企画・設計・調達	
基本方針5 デジタル人材の育成	⑪ 児童生徒・教職員の情報モラルを含む情報活用スキル向上	継続実施 施策検討			デジタル・シティズンシップ教育の実践	
	⑫ 持続可能なデジタル専門組織の整備とデジタル専門人材の確保・育成	継続実施 施策検討			計画的な実施	

## 3-2 デジタルを活用した学びの今後の方向性

- 1) これまでの取組
- 2) 現状と課題
- 3) 推進方針
- 4) 推進方策
- 5) 推進スケジュール

# 1) これまでの取組

## 与えられているデジタルツール

### 機器

- ・タブレット端末
- ・大型提示装置（電子黒板）

### 各種ソフトウェア

- ・コミュニケーションソフト
- ・授業支援ソフト
- ・学習支援ソフト

### 各種ツール

- ・標準で搭載されている各種ツール

## デジタル活用ツール例

### 誰一人取り残さない

情報を共有する

（大型提示装置／授業支援ソフト／情報共有ツール）

双方向でコミュニケーションする

（大型提示装置／オンラインコミュニケーションソフト）

授業を配信する

（オンラインコミュニケーションソフト）

課題を配信しフォローする

（学習支援ソフト）

特別な支援を要する配慮をする

（アクセシビリティ）

### 個別最適な学び

課題を配信しフォローする

（学習支援ソフト）

習熟度に応じ自主学習する

（学習支援ソフト）

予習する

（学習支援ソフト）

ポートフォリオを作成する

（授業支援ソフト）

### 協働的・探究的な学び

調査する

（検索／アンケートフォーム）

話し合う

（授業支援ソフト）

情報を収集する

（検索）

情報を整理する

（プレゼンテーションソフト／表計算ソフト）

協働作業する

（授業支援ソフト／プレゼンテーションソフト）

発表する

（プレゼンテーションソフト／動画編集ソフト）

### その他様々な場面で文具として活用できるツール

写真を撮る

拡大する

メモをする

動画を制作する

漢字を学習する

外国語を翻訳する

楽器を演奏する

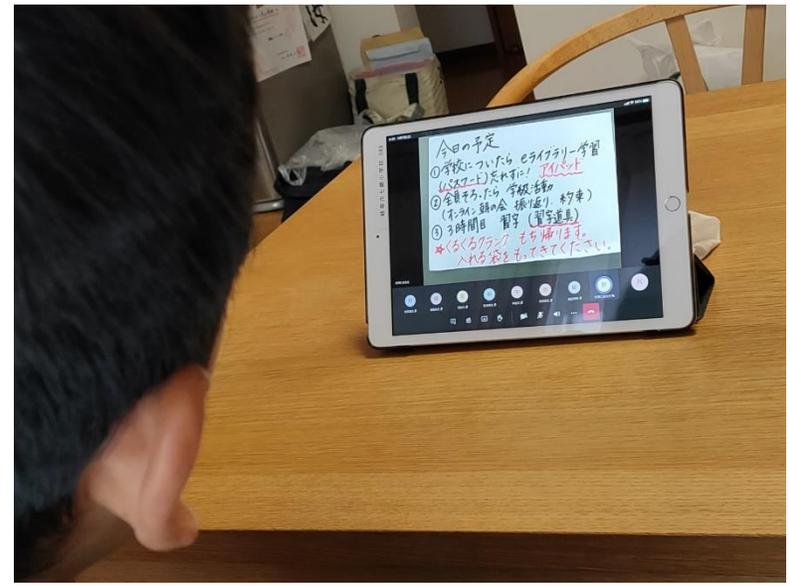
音読を録音する

地図を見る

⋮

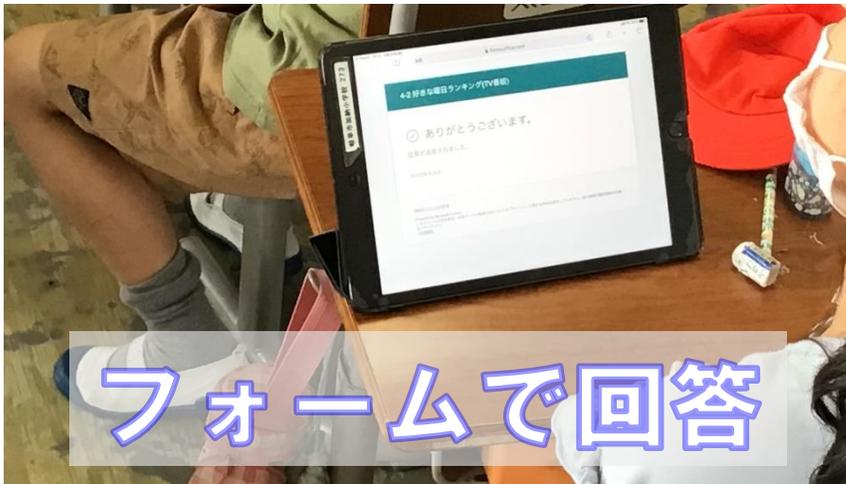
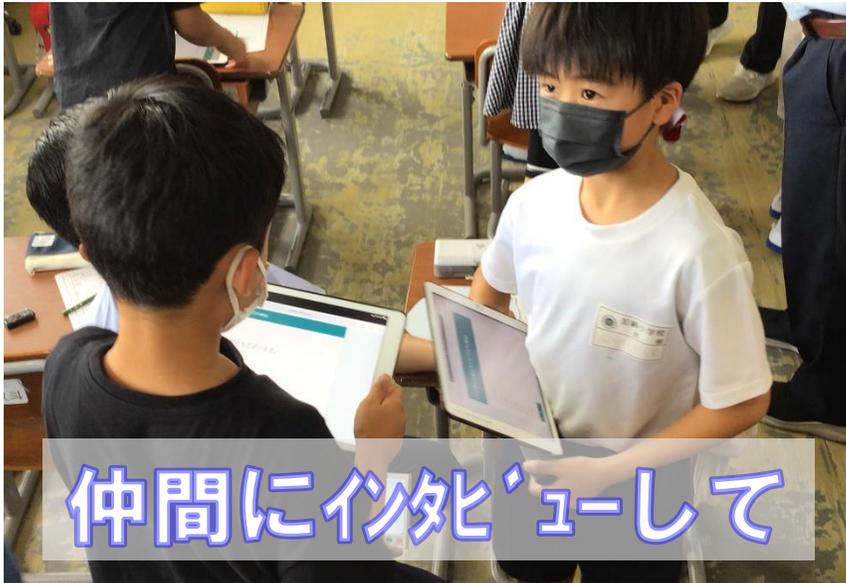
1) これまでの取組み

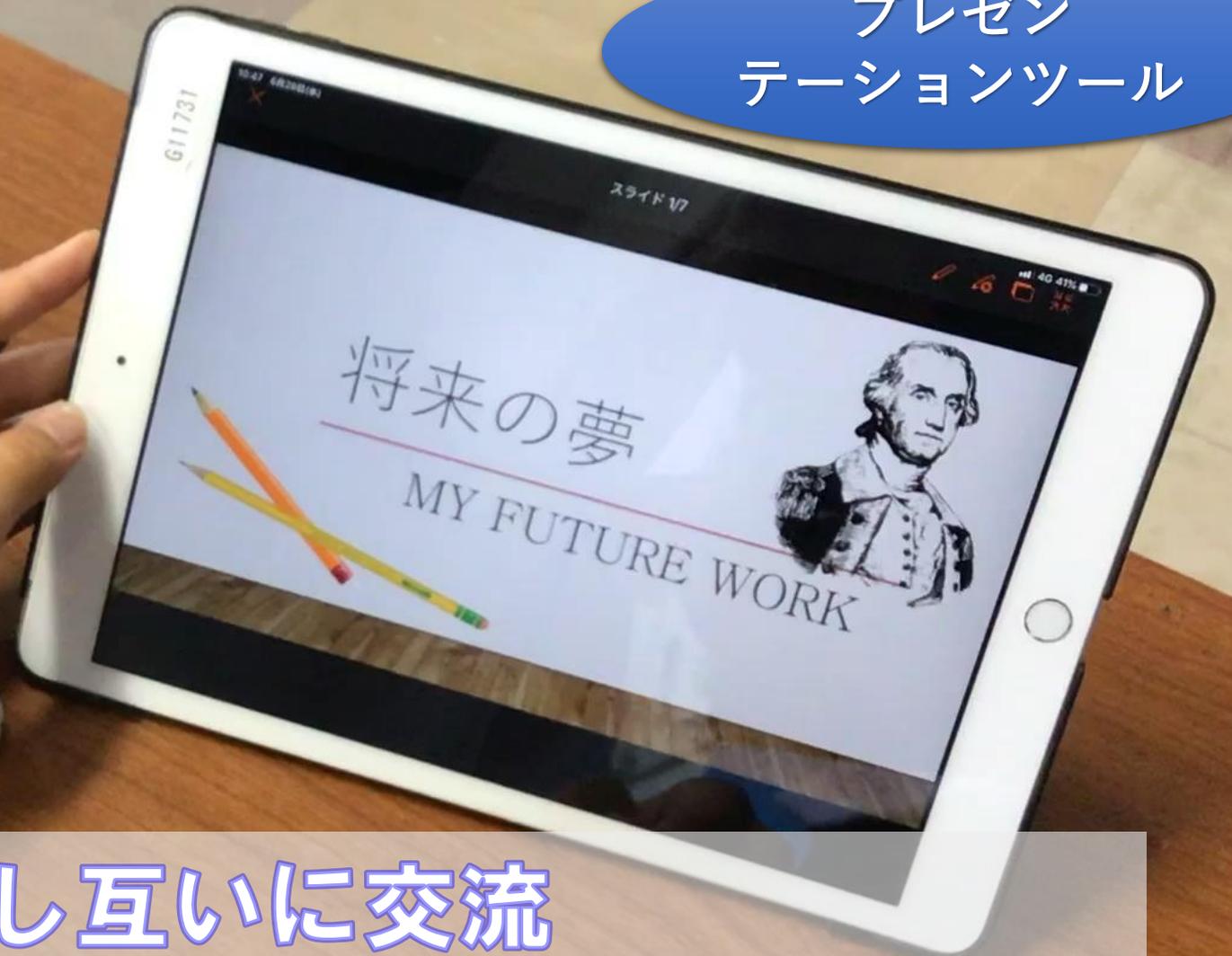
オンライン  
コミュニケーションツール



同時双方向のオンライン学習支援  
⇒ 「命を守る」と「学びを止めない」の両立

## アンケートフォーム





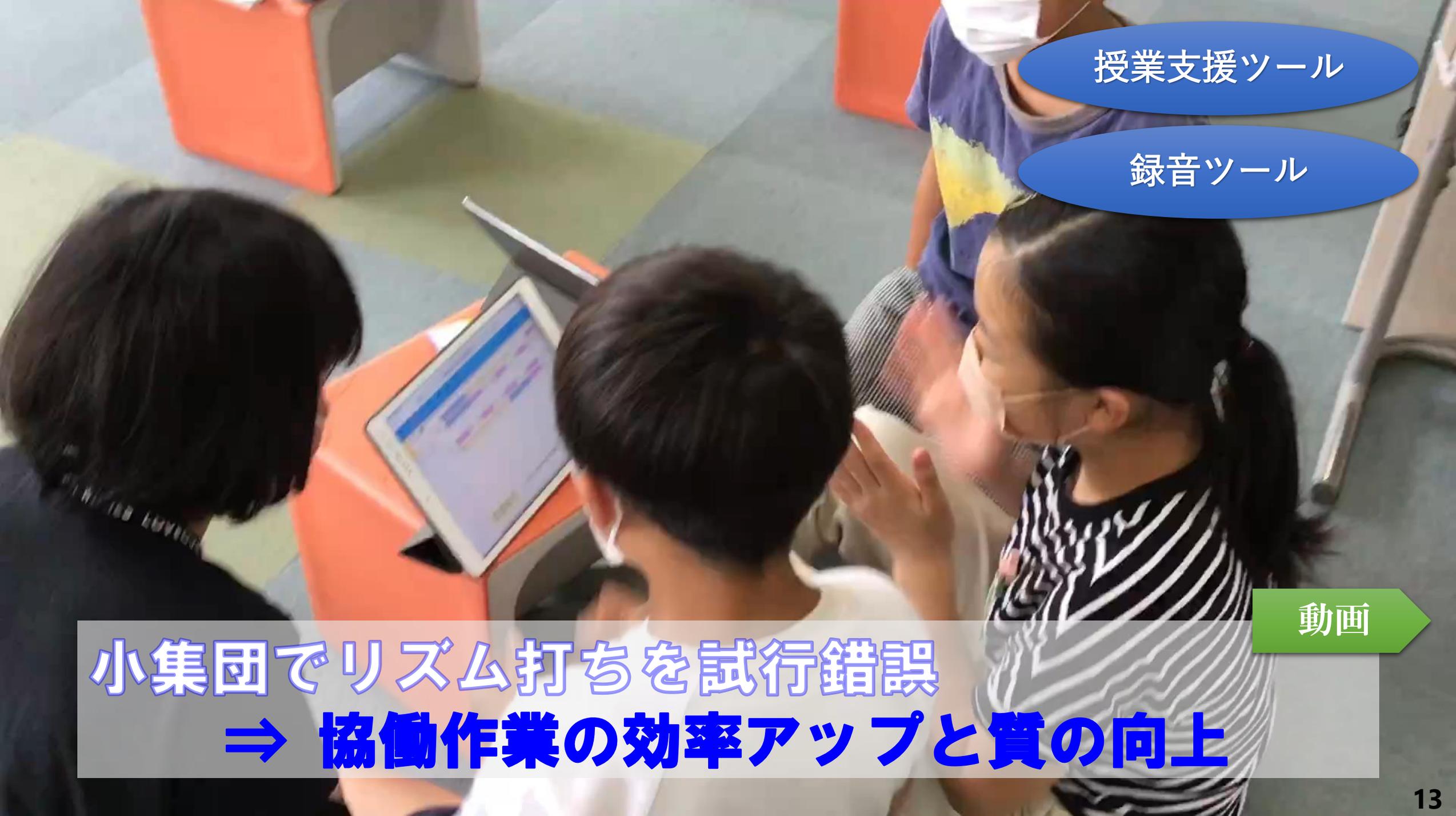
「将来の夢」を制作し互いに交流  
⇒ クリエイティブな発表資料の制作  
と発表スキルの向上

録画機能

音声テキスト  
変換ツール

正しく発音  
できたかな？

英語の発音を録画し、自動でテキスト変換  
⇒ 正しい発音かAIがチェック  
自己評価と反復練習



授業支援ツール

録音ツール

動画

小集団でリズム打ちを試行錯誤  
⇒ 協働作業の効率アップと質の向上

カメラ

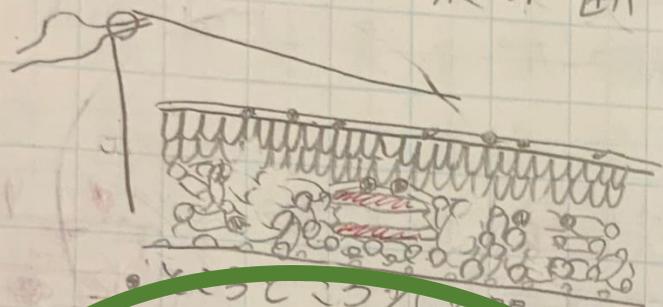
高倍率



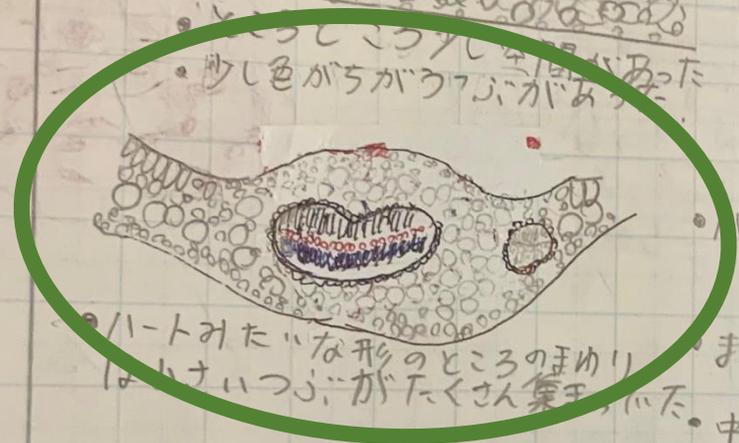
顕微鏡の画像の撮影

⇒ 顕微鏡の倍率をはるかに超える超高精細な分析

＜ツバキの葉の断面＞

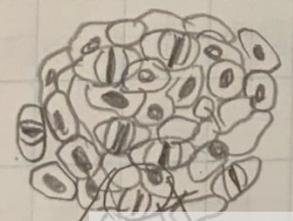


- つぶつぶ
- はし、こに長ぼそいものがたくさんついてた
- 一番上に、あいたがあって、すきまに赤い、ほいものがところどころあった。



- ハートみたいなところがあった  
↓  
水などが通るところ？
- まわりに多つぶつぶがあった  
小さい
- 中に入きつぶがあった

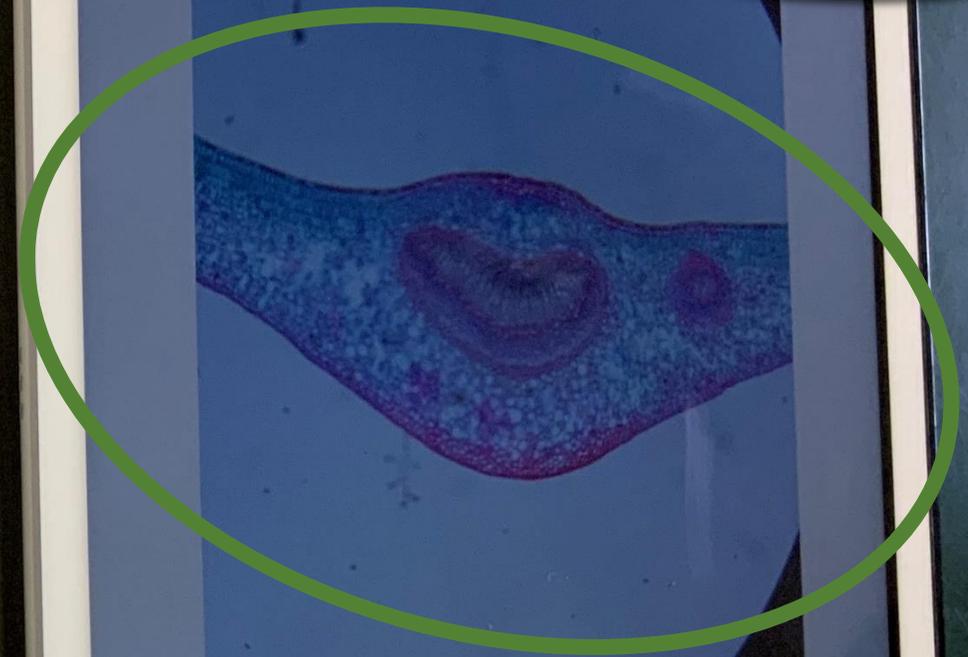
＜ツユクサの長皮＞



- 月みたいなものがところどころにある
- 1つの部屋みたいなものがたくさんあつまっている

記録画像を拡大表示してスケッチ

⇒ 詳細に観察し新たな発見を導く



コミュニケーション  
ツール

仲間が投稿した画像を閲覧

⇒ 自分や仲間の投稿から共通点と相違点を見出す

動画

保存機能

G06095

2022年6月27日～28日  
岐阜市立本荘中学校

年別 月別 日別 全ての写真

アスペクト比

選択

...

仲間が投稿した画像を端末に保存

⇒ ポートフォリオ化し

見出した共通点と相違点の客観性を確認する

# 電子書籍



市環境部の出前授業の資料を

タブレット端末の「ブック」から閲覧

⇒ 市の発行物のデジタル化・ペーパーレス化

プラスチック製容器包装とは

令和4年4月から



プラスチック製容器包装の  
分別収集が



始まります！

出典：環境省 平成29年度漂着ごみ対策総合検討業務  
日本容器包装リサイクル協会

岐阜市 環境一課

岐阜市  
環境一課



「ブック」からWebサイトへのリンクや動画を再生  
⇒ 最新の情報とマルチタスクにより、深い学びへ

## 2) 現状と課題

### 課題

与えられたツールで **できること** を **全ての教員が十分に知らず** **活かしきれていない**

#### 与えられているデジタルツール

**機器**

- ・タブレット端末
- ・大型提示装置（電子黒板）

**各種ソフトウェア**

- ・コミュニケーションソフト
- ・授業支援ソフト
- ・学習支援ソフト

**各種ツール**

- ・標準で搭載されている各種ツール

#### デジタル活用ツール例

**誰一人取り残さない**

<b>情報を共有する</b> <small>(大型提示装置／授業支援ソフト／情報共有ツール)</small>	
<b>双方向でコミュニケーションする</b> <small>(大型提示装置／オンラインコミュニケーションソフト)</small>	<b>授業を配信する</b> <small>(オンラインコミュニケーションソフト)</small>
<b>課題を配信しフォローする</b> <small>(学習支援ソフト)</small>	<b>特別な支援を要する配慮をする</b> <small>(アクセシビリティ)</small>

**個別最適な学び**

<b>課題を配信しフォローする</b> <small>(学習支援ソフト)</small>	<b>習熟度に応じ自主学習する</b> <small>(学習支援ソフト)</small>
<b>予習する</b> <small>(学習支援ソフト)</small>	<b>ポートフォリオを作成する</b> <small>(授業支援ソフト)</small>

**協働的・探究的な学び**

<b>調査する</b> <small>(検索／アンケートフォーム)</small>	<b>話し合う</b> <small>(授業支援ソフト)</small>
<b>情報を収集する</b> <small>(検索)</small>	<b>情報を整理する</b> <small>(プレゼンテーションソフト／表計算ソフト)</small>
<b>協働作業する</b> <small>(授業支援ソフト／プレゼンテーションソフト)</small>	<b>発表する</b> <small>(プレゼンテーションソフト／動画編集ソフト)</small>

**その他様々な場面で文具として活用できるツール**

写真を撮る	拡大する	メモをする
動画を制作する	漢字を学習する	外国語を翻訳する
楽器を演奏する	音読を録音する	地図を見る
⋮		

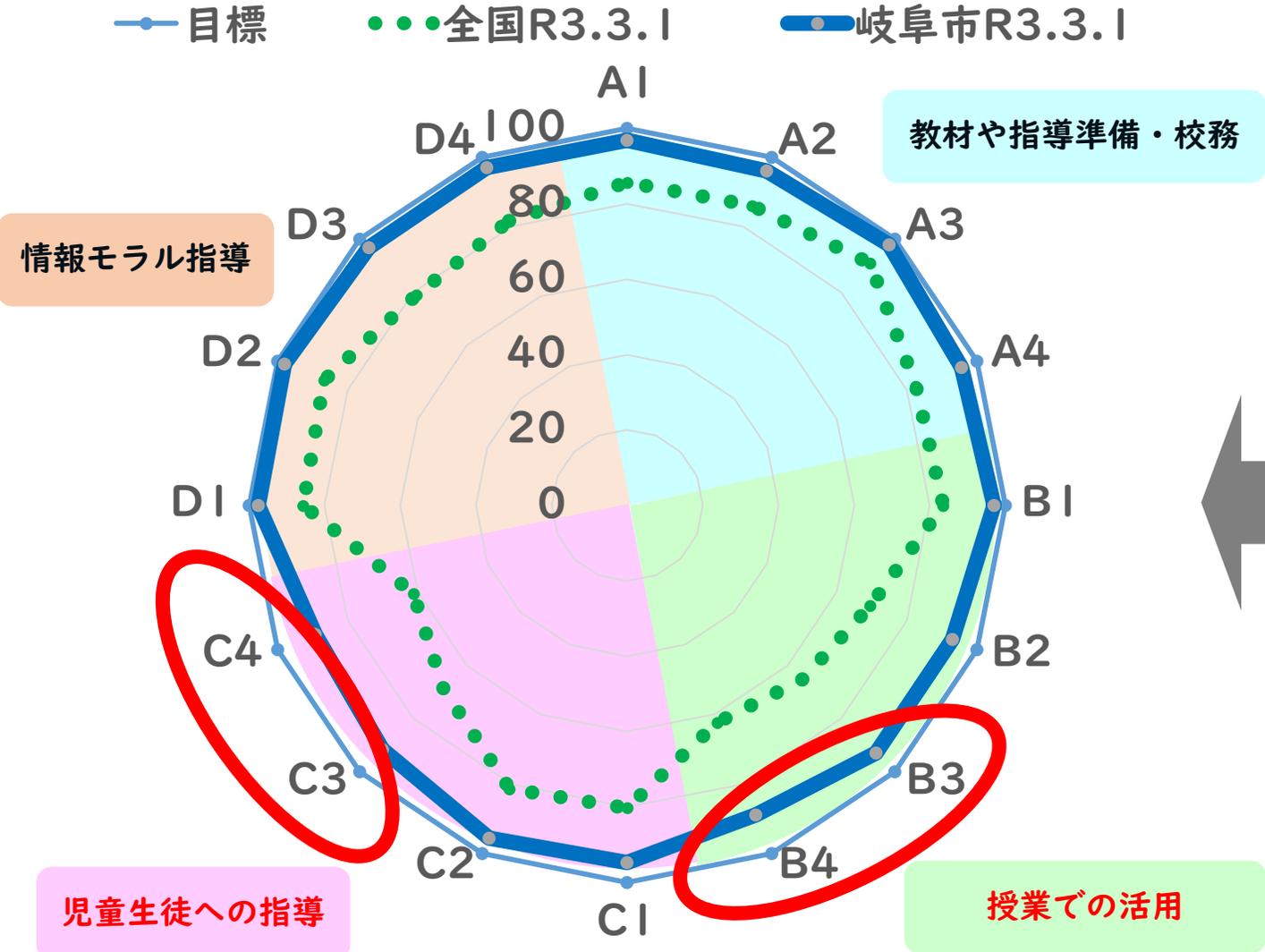
### 見込む効果

児童生徒が、デジタルを「**文具**」として活用できる **情報活用スキル** が身につく

児童生徒が、デジタルの効果的な活用により、これまで以上に **より多くのことが達成できる**

## 2) 現状と課題

## 文科省「教員のICT活用指導力チェックリスト」



A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	
A1	教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用する。
A2	授業で使う教材や校務分掌に必要な資料などを集めたり、保護者・地域との連携に必要な情報を発信したりするためにインターネットなどを活用する。
A3	授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成するために、ワープロソフト、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。
A4	学習状況を把握するために児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理し、評価に活用する。
B 授業にICTを活用する能力	
B1	児童生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。
B2	児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示する。
B3	知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませる。
B4	グループで話し合ったり考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。
C 児童生徒のICT活用を指導する能力	
C1	学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能（文字入力やファイル操作など）を児童生徒が身に付けることができるように指導する。
C2	児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報や信頼できる情報を選択し取り扱うことができるように指導する。
C3	児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。
C4	児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。
D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力	
D1	児童生徒が情報社会への参画にあたって自らの行動に責任を持ち、相手のことを考え、自他の権利を尊重して、ルールやマナーを守って情報を集めたり発信したりできるように指導する。
D2	児童生徒がインターネットなどを利用する際に、反社会的な行為や違法な行為、ネット犯罪などの危険を適切に回避したり、健康面に留意して適切に利用したりできるように指導する。
D3	児童生徒が情報セキュリティの基本的な知識を身に付け、パスワードを適切に設定・管理するなど、コンピュータやインターネットを安全に利用できるように指導する。
D4	児童生徒がコンピュータやインターネットの便利さに気付き、学習に活用したり、その仕組みを理解したりしようとする意欲が育まれるように指導する。

### 3) 推進方針

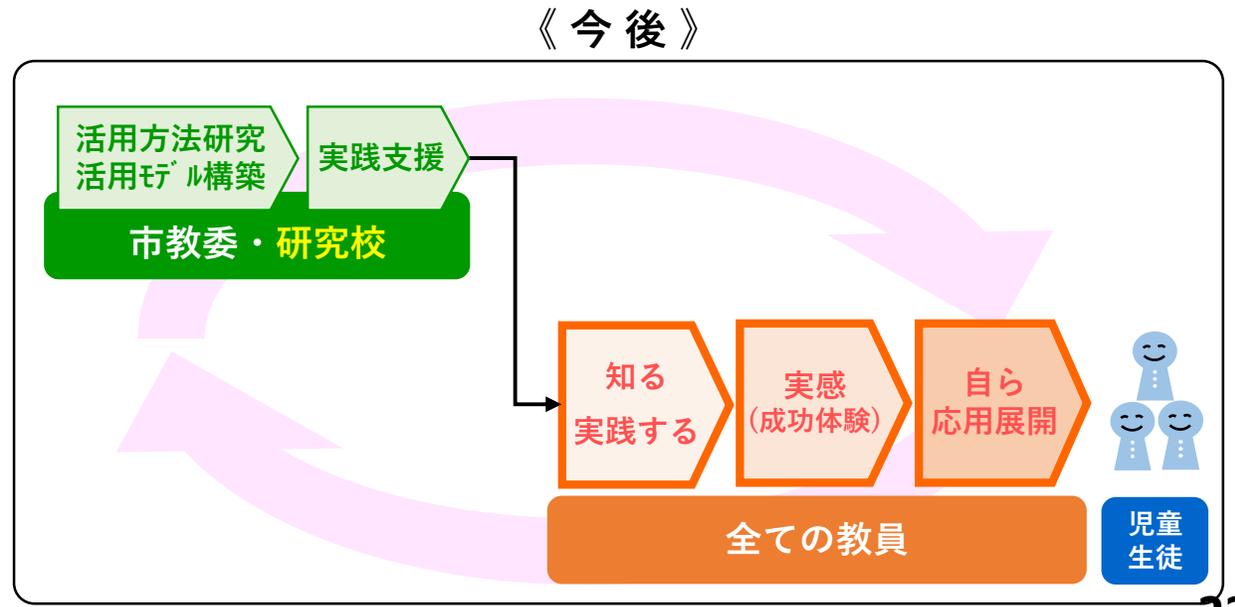
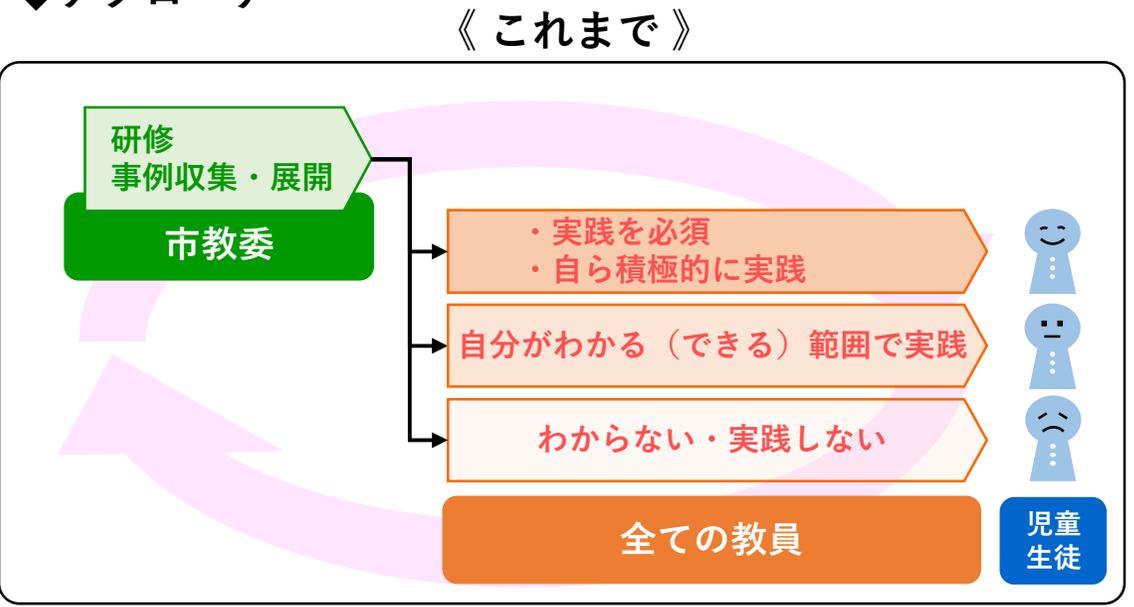
#### ◆目指す姿

全ての教員が デジタルを効果的・効率的に活用し、学校教育のOSを入替え、  
誰一人取り残すことのない、個別最適な学び、協働的な学び の場を提供することにより、  
全ての児童生徒が デジタル活用により より多くのことを達成 し、  
デジタル社会を生き抜く 資質・能力 のより一層確実な育成 を図る。

#### ◆そのために必要なこと



#### ◆アプローチ



### 3) 推進方針

#### ◆第一ステップ

与えられたツールを知る

写真・動画を撮る	タブレット画面を投影する	グループ内で情報共有する	オンラインでコミュニケーションをとる
資料を共有する	資料を協働編集する	宿題配信する	宿題を回収する
アンケートする	キーボードを切り替える	スクリーンショットを撮る	マルチタスクを活用する
調べる (検索)	記録する (ノート/写真/録音/動画)	まとめる (プレゼン)	発表する (プレゼン)
データを共有する (情報共有/協働作業)	動画を作る (プレゼン)	特別な支援を要する配慮 (アクセシビリティ)	楽器を演奏する (バーチャル演奏/作曲)
漢字学習 (反復練習)	外国語理解 (発音練習/翻訳)	音読学習 (録音再生)	地図学習 (バーチャル旅行/鳥瞰図)

#### ◆第二ステップ

ツールを効果的に活用した「活用モデル」を知り、実践する  
(共通編)

#### ◆第三ステップ

ツールを効果的に活用した「活用モデル」を知り、実践する  
(教科編)

### 文科省「教員のICT活用指導力チェックリスト」

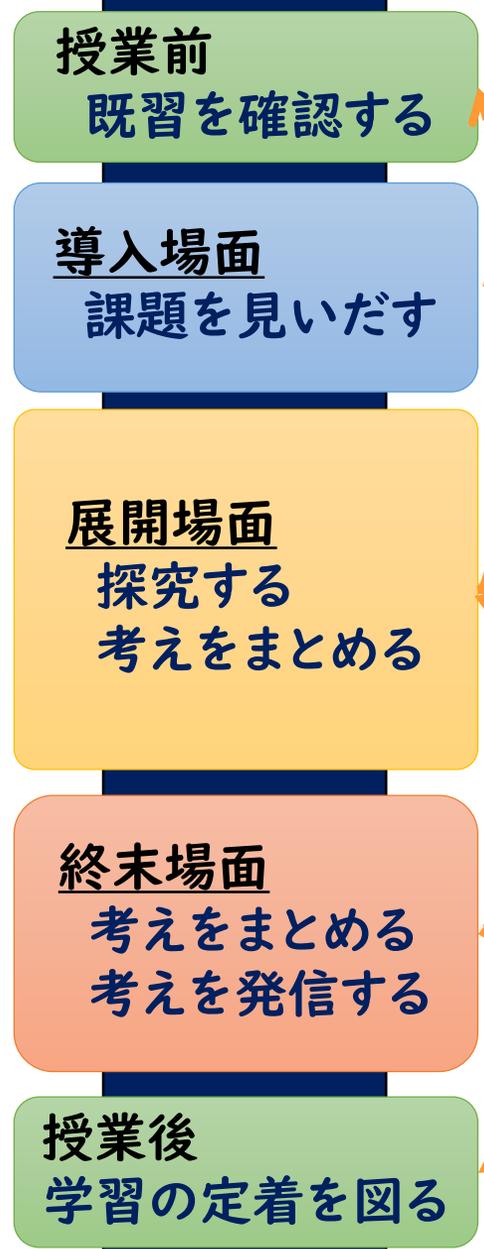
A 教材研究・指導の準備・評価・校務などにICTを活用する能力	
A1	教育効果を上げるために、コンピュータやインターネットなどの利用場面を計画して活用する。
A2	授業で使う教材や校務分掌に必要な資料などを集めたり、保護者・地域との連携に必要な情報を発信したりするためにインターネットなどを活用する。
A3	授業に必要なプリントや提示資料、学級経営や校務分掌に必要な文書や資料などを作成するために、ワープロソフト、表計算ソフトやプレゼンテーションソフトなどを活用する。
A4	学習状況を把握するために児童生徒の作品・レポート・ワークシートなどをコンピュータなどを活用して記録・整理し、評価に活用する。
B 授業にICTを活用する能力	
B1	児童生徒の興味・関心を高めたり、課題を明確につかませたり、学習内容を的確にまとめさせたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して資料などを効果的に提示する。
B2	児童生徒に互いの意見・考え方・作品などを共有させたり、比較検討させたりするために、コンピュータや提示装置などを活用して児童生徒の意見などを効果的に提示する。
B3	知識の定着や技能の習熟をねらいとして、学習用ソフトウェアなどを活用して、繰り返し学習する課題や児童生徒一人一人の理解・習熟の程度に応じた課題などに取り組ませる。
B4	グループで話し合っって考えをまとめたり、協働してレポート・資料・作品などを制作したりするなどの学習の際に、コンピュータやソフトウェアなどを効果的に活用させる。
C 児童生徒のICT活用を指導する能力	
C1	学習活動に必要な、コンピュータなどの基本的な操作技能（文字入力やファイル操作など）を児童生徒が身に付けることができるように指導する。
C2	児童生徒がコンピュータやインターネットなどを活用して、情報を収集したり、目的に応じた情報を選択できる情報を選択し取り扱えるように指導する。
C3	児童生徒がワープロソフト・表計算ソフト・プレゼンテーションソフトなどを活用して、調べたことや自分の考えを整理したり、文章・表・グラフ・図などに分かりやすくまとめたりすることができるように指導する。
C4	児童生徒が互いの考えを交換し共有して話し合いなどができるように、コンピュータやソフトウェアなどを活用することを指導する。
D 情報活用の基盤となる知識や態度について指導する能力	
D1	児童生徒が情報社会への参画にあたって自らの行動に責任を持ち、相手のことを考え、自他の権利を尊重して、ルールやマナーを守って情報を集めたり発信したりできるように指導する。
D2	児童生徒がインターネットなどを利用する際に、反社会的な行為や違法な行為、ネット犯罪などの危険を適切に回避したり、健康面に留意して適切に利用したりできるように指導する。
D3	児童生徒が情報セキュリティの基本的な知識を身に付け、パスワードを適切に設定・管理するなど、コンピュータやインターネットを安全に利用できるように指導する。
D4	児童生徒がコンピュータやインターネットの便利さに気付き、学習に活用したり、その仕組みを理解したりしようとする意欲が育まれるように指導する。

引用：文部科学省「教員のICT活用指導力の状況」

# 授業の過程におけるデジタル活用例

## ICTを活用した指導方法

(1人1台の情報端末・電子黒板・無線LAN等)  
～学びのイノベーション事業実証研究報告書より～ 文科省



**A1: 教員による教材の提示**



**B1: 個に応じる学習**



**B2: 調査活動**



**B5: 家庭学習**



**B3: 思考を深める学習**



**B4: 表現・制作**



**C3: 協働制作**



**C1: 発表や話し合い**



**C2: 協働での意見整理**



**C4: 学校の壁を越えた学習**



# 岐阜市版GIGA・Classモデル

## 1人1台端末をフル活用した新たな学習スタイルの提案

### 展開場面：仲間と協働する



プレゼンテーションソフト

授業支援ソフト

#### ○課題の解決に向け協働



グループワークで  
個々の考えを持ち寄り、  
班の考えとしてまとめる。

運動(ダンス)や合唱、  
演奏の様子など、  
仲間と協働して制作した  
作品を撮影する。

個別に探究し、個々でまとめた成果物  
(文書・写真・動画・音声・プレゼン・レポート等)を  
仲間とデータで共有する。  
仲間が収集した情報をヒントにさらに個人で  
追究することもできる。

仲間と協働して一つの成果物としてまとめる。

仲間と分担して個別に制作した情報を協働して一つにまとめる力を養う。

## 岐阜市版GIGA・Classモデル

1人1台端末をフル活用した新たな学習スタイルの提案

終末場面：発信する

重点

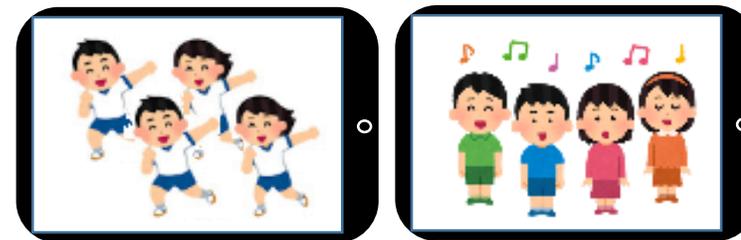
大型提示  
装置

授業支援  
ソフト

○伝えたい情報を発信



課題の解決に向け、  
取り組んだことをまとめ、  
発表し、仲間に伝える。



合唱や運動(ダンス)の様子など、  
自分たちのデジタル作品を仲間に発表する。

個人や仲間と協働して一つにまとめた成果物（文書・写真・動画・音声・プレゼン・レポート等）を学級の仲間などに向け分かりやすく発表する。

意見交換や発表など、互いを高め合う学びを通して、思考力、判断力、表現力などを育成する。

# 4) 推進方策

## 理科の授業におけるICTの活用について 岐阜市教育委員会 学校指導課

**■前提（資質・能力を育むために理科で重視する「探究の過程」、「問題解決の過程」）**  
 理科においては、課題の把握（発見）、課題の探究（追究）、課題の解決という探究の過程（問題解決の過程）を通じた学習活動を行い、それぞれの過程において資質・能力が育成されるよう、指導の改善を図っていくことが必要。

**■理科の指導においてICTを活用する際のポイント**  
 「観察、実験の代替」としてではなく、理科の学習の一層の充実を図るための有用な道具としてのICTを位置付け、活用する場面を適切に選択し、教師の丁寧な指導の下で効果的に活用することが重要。



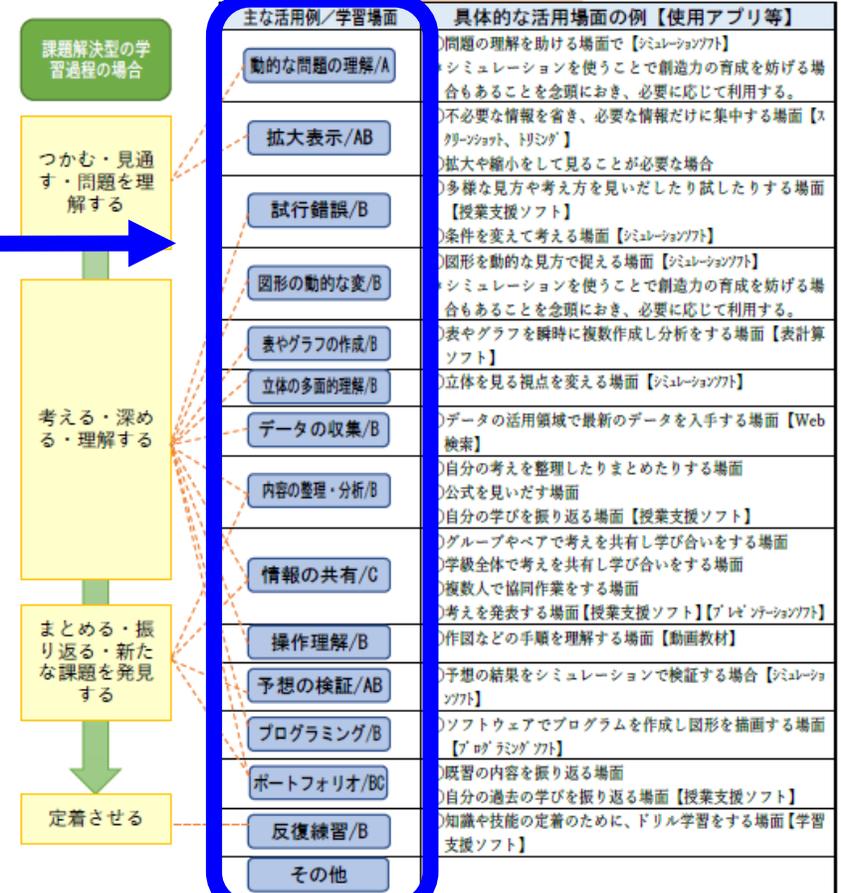
岐阜市版教科の特性に応じた  
使い方（活用例）を作成・共有

## 算数・数学におけるICTの活用について 岐阜市教育委員会 学校指導課

**■算数・数学科の指導に求められる観点**  
 ・ 具体を通して、算数・数学の内容を確実に理解し、数学的に考える力を育成することが必要。  
 ・ 日常生活や社会の複雑な事象の問題を解決するために、様々なデータを収集・整理・分析し、その結果をもとに判断・表現できる力の育成が必要。

**■算数・数学の指導においてICTを活用する際のポイント**  
 ・ 小学校では、具体的な体験を伴う学習等を通じて、児童に算数の論理を理解させることが大切であり、教師の丁寧な指導のもとでICTを活用する場面を適切に選択することが必要。  
 ・ 中学校では、学習内容の抽象度が高まるとともに、複雑な問題を扱う学習等が増加するため、ICTの活用で理解を促進。

【ICTを活用した学習場面】 A 教師による教材の提示 B 個に応じる学習、調査活動、思考を深める学習、表現・制作、家庭学習、C 発表や話し合い、協働での意見整理、協働制作、学校の影を越えた学習

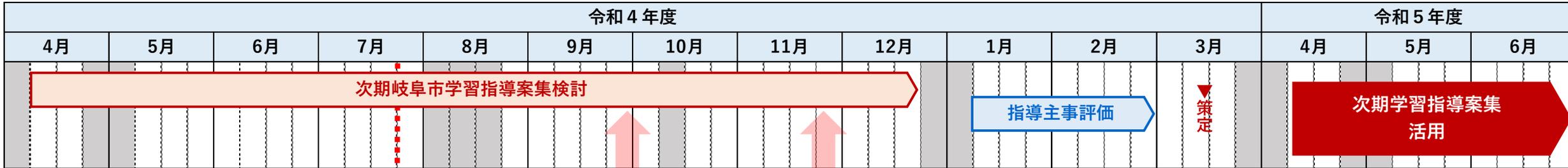


\* 参考文献 「理科の指導におけるICTの活用について」(文部科学省)、(岐阜県教育委員会)

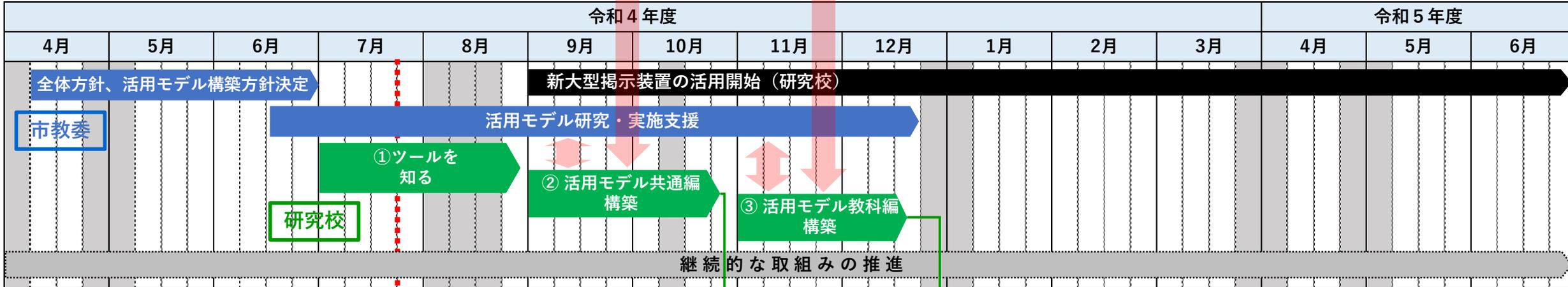
\* 参考文献「算数・数学におけるICT活用事例集」(文部科学省)、「学びのイノベーション事業実践研究報告書 H26(文科省)」

# 5) 推進スケジュール

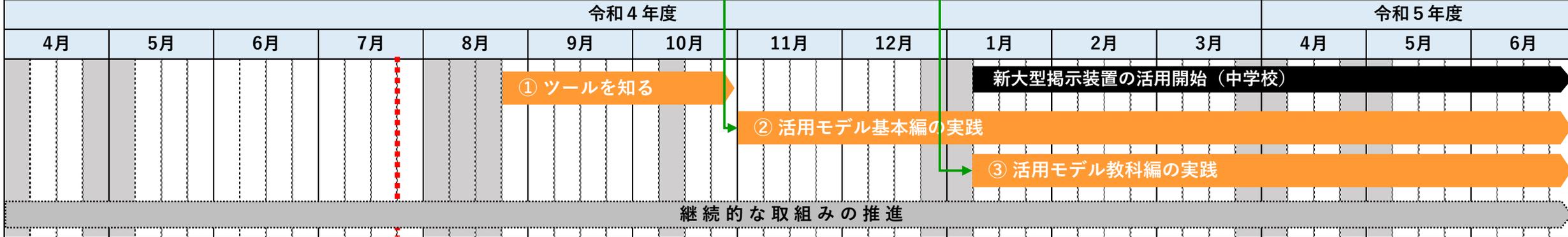
次期岐阜市学習指導案集策定（市教委／授業・評価改善委員会）



活用モデル構築（市教委／研究校）



全学校



---

## 4. 岐阜市学「ぎふ未来」について

---

4-1. 本市の児童生徒の現状と課題、  
「岐阜市について深く学ぶ機会」の現状

4-2. 岐阜市学「ぎふ未来」で目指す子どもの姿

4-3. 岐阜市学「ぎふ未来」で学習する内容と方法

4-4. 今後の見通し ～Road Map～

---

4-1. 本市の児童生徒の現状と課題、  
「岐阜市について深く学ぶ機会」の現状

●将来の夢や目標をもっている

【小学校】



肯定的な回答の割合

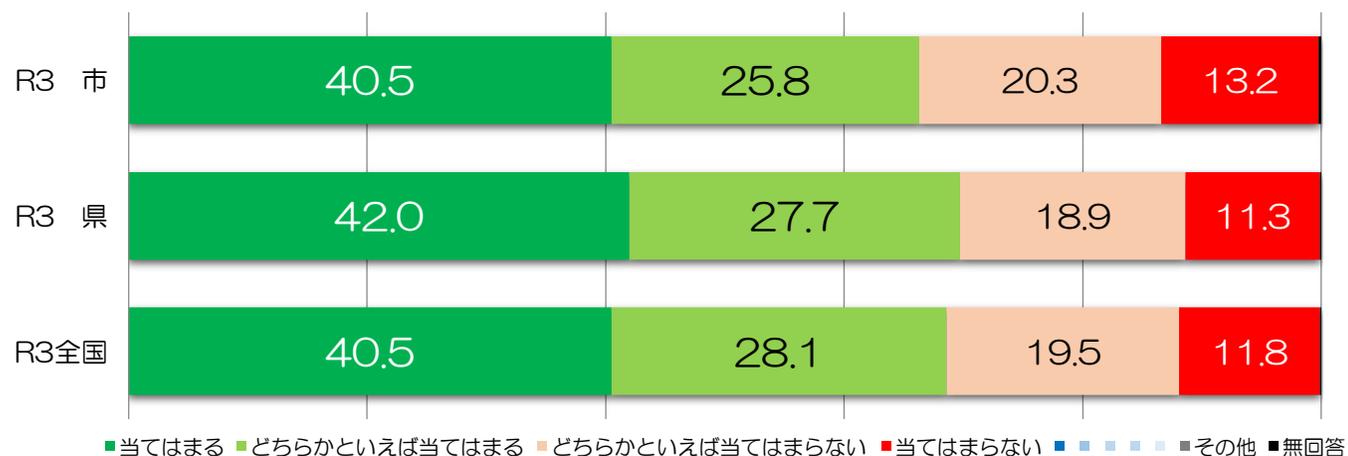
【小学校】

- ・全国：-1.3%
- ・県：-0.5%

【中学校】

- ・全国：-2.3%
- ・県：-3.4%

【中学校】



夢や目標をもつことができていない子

【小学校】

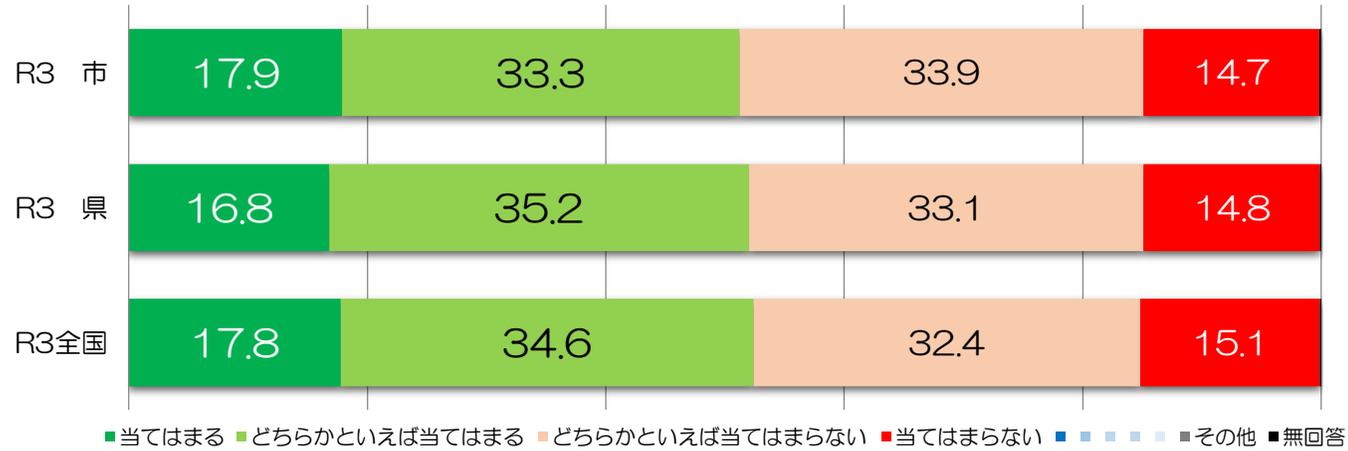
約 677人 / 3,225人

【中学校】

約 1,102人 / 3,289人

●地域や社会をよりよくするために何をすべきか考える

【小学校】



肯定的な回答の割合

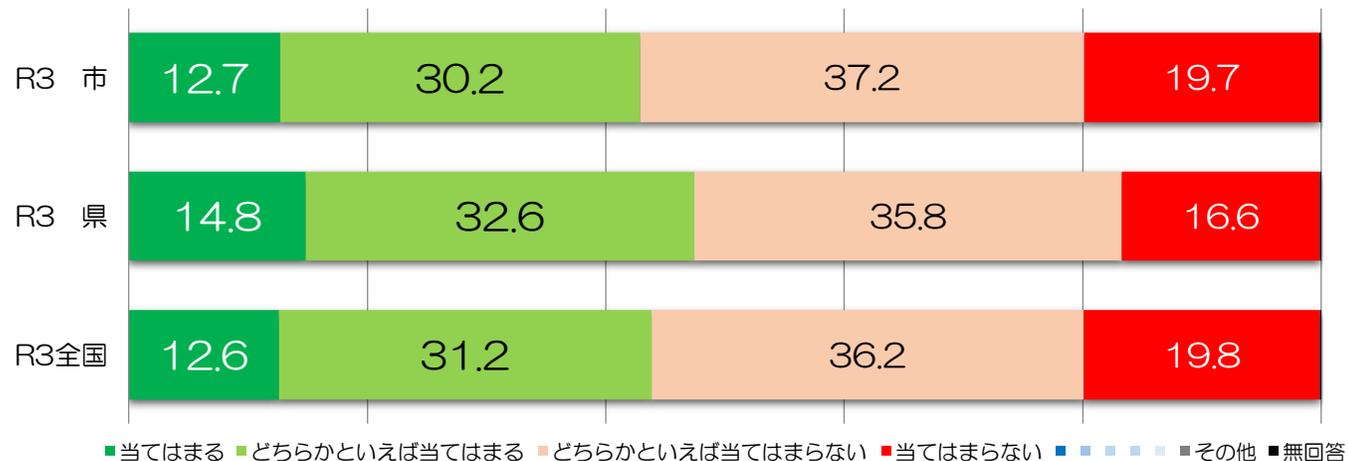
【小学校】

- ・全国：-1.2%
- ・県：-0.8%

【中学校】

- ・全国：-0.9%
- ・県：-4.5%

【中学校】



・特に岐阜県との比較において、社会参画に対する意識が低い。

●「夢や目標をもてていない子」「社会参画への意識が低い子」の要因

【夢や目標をもてていない】 ※数値が高い学校への聞き取り調査より

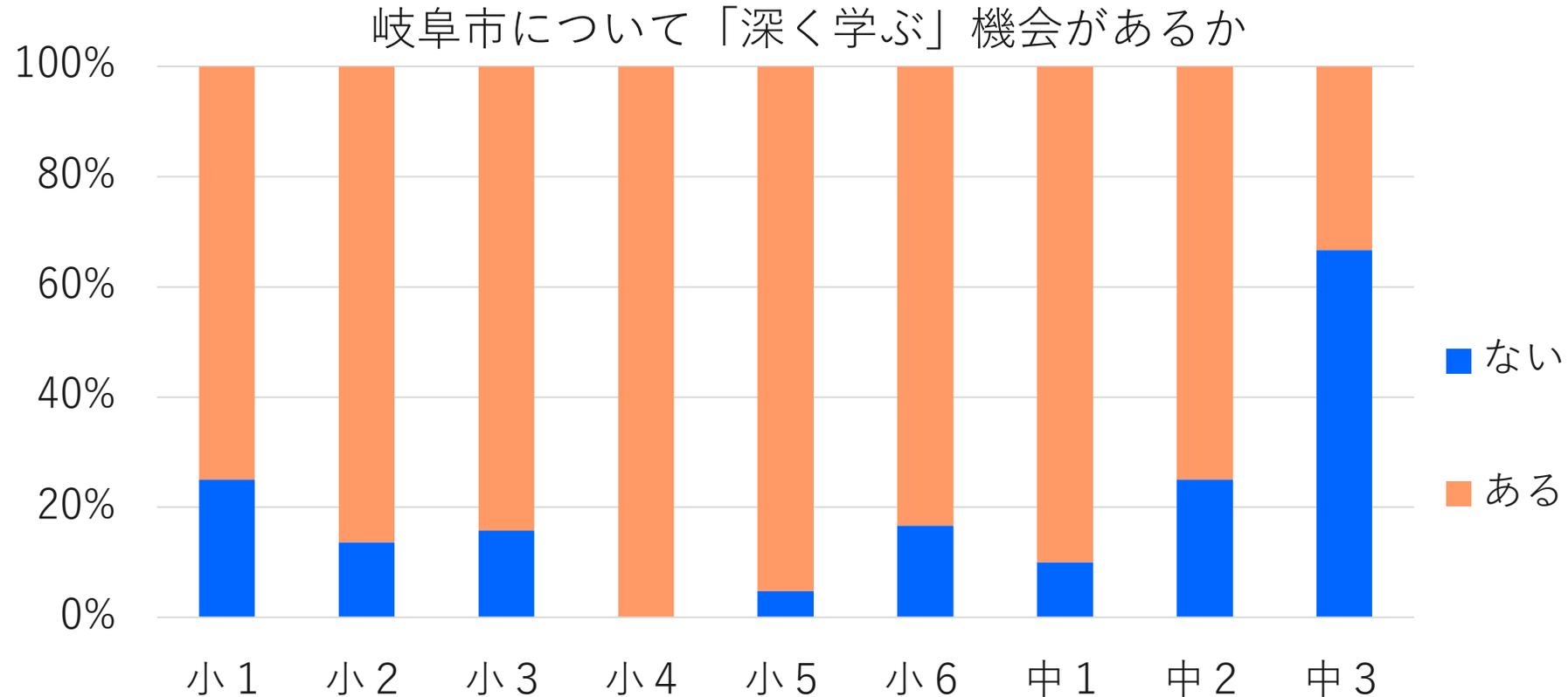
- ・自分の興味関心を広げる機会が少ない。
- ・探究的な学びにおける、児童生徒の主体性が弱い。
- ・人の生き方に触れる機会が少ない。
- ・授業の学びと自分の生活(生き方)が繋がっていない。

【社会参画への意識が低い】 ※各校の実態調査より

- ・岐阜市への愛着と誇りが十分もてていない。

## 4-1. 現状分析(2) ～「岐阜市について深く学ぶ機会」の現状～

### ●各小・中学校における「生活科」「総合的な学習の時間」「特別活動」等の調査



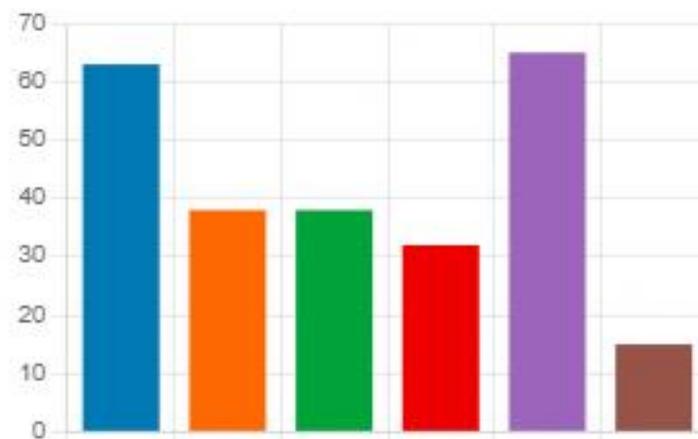
#### 「深く学ぶ」とは・・・

総合的な学習の時間や生活科、特別活動等において、見学・体験活動を行ったり、外部講師を招いて学習したりするなど、探究的な活動を通して岐阜市に対する理解を深め、誇りや愛情を育むような学習活動

●各小・中学校における「生活科」「総合的な学習の時間」「特別活動」等の調査

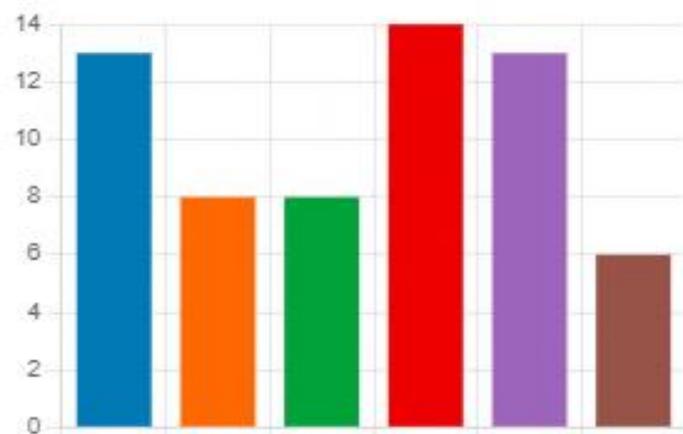
【小学校】

- 自然
- 歴史
- 伝統文化
- 産業
- 暮らし
- その他



【中学校】

- 自然
- 歴史
- 伝統文化
- 産業
- 暮らし
- その他



- ・小学校1~3年生は、「自然」に関わる内容が比較的多い。
- ・学年が上がるにつれて、「自然」の割合が減っていく。
- ・「歴史」「伝統文化」については、小中共に学習する学年が少ない傾向にある。

●ふるさと大好き鵜飼事業



【ねらい】

主に小学校5年生を対象に鵜飼観覧体験事業を展開し、ふるさとを愛する心情と態度を育成するとともに、ふるさとを誇りに、自信をもって生きぬく資質と態度を養う。

※R2・3は、コロナのため中止

・R4～主に小学校5年生、中学校1年生を対象に再開

●各小・中学校における「生活科」「総合的な学習の時間」「特別活動」等の調査

【結果分析】

- ・各校は、地域資源を生かして特色ある教育活動を行っている。  
→学ぶ内容に偏りがあり「岐阜市(地域)への愛着と誇り」や、「社会参画への意識」の涵養には至っていない場合が多いのではないか。
- ・学習内容に応じてゲストティーチャーを招き、見学や体験活動、講演活動を行い、共に学習する機会を設けている。  
→それぞれが「活動」で終わっていて、学びを9年間の線につなぐことができているのではないか。
- ・各校独自のカリキュラムであるため、統一された出口(目指す子どもの姿)が共有されていない。

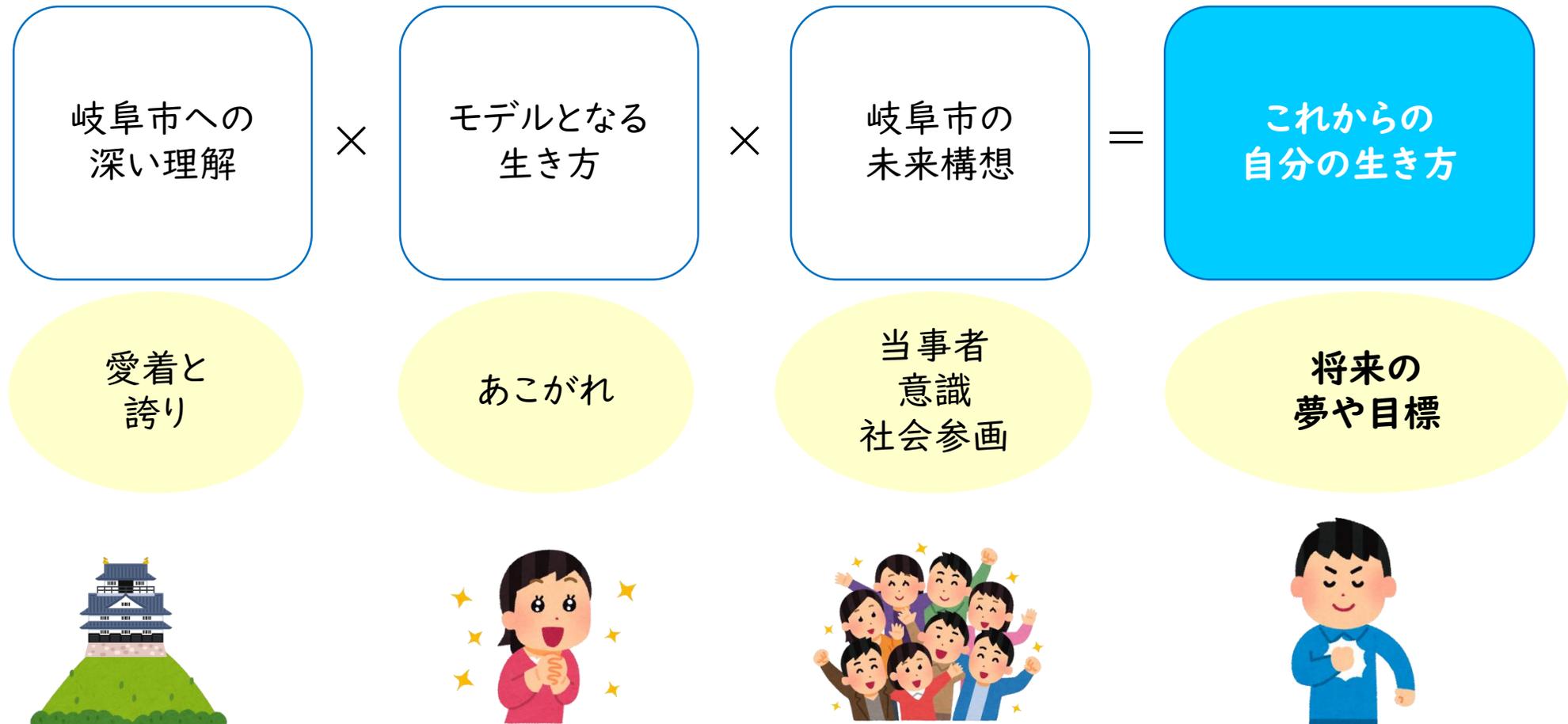
---

## 4-2. 岐阜市学「ぎふ未来」で目指す子どもの姿

## 4-2. 岐阜市学「ぎふ未来」で目指す子どもの姿

### ●岐阜市学「ぎふ未来」の目的

岐阜市の資源(人・もの・こと)をベースとして、生きる力を育む



## 4-2. 岐阜市学「ぎふ未来」で目指す子どもの姿

### ●なぜふるさと岐阜市をベースとするのか

これからの  
自分の生き方



将来の  
夢や目標

学びを  
自分事と  
する

自分と社会を関連付け  
(他者と関わりながら)  
学びを深める



当事者  
意識  
社会参画

自分と社会(岐阜市)のつながりを感じる

・直接体験  
・見学  
・探究的な活動  
愛着と誇り



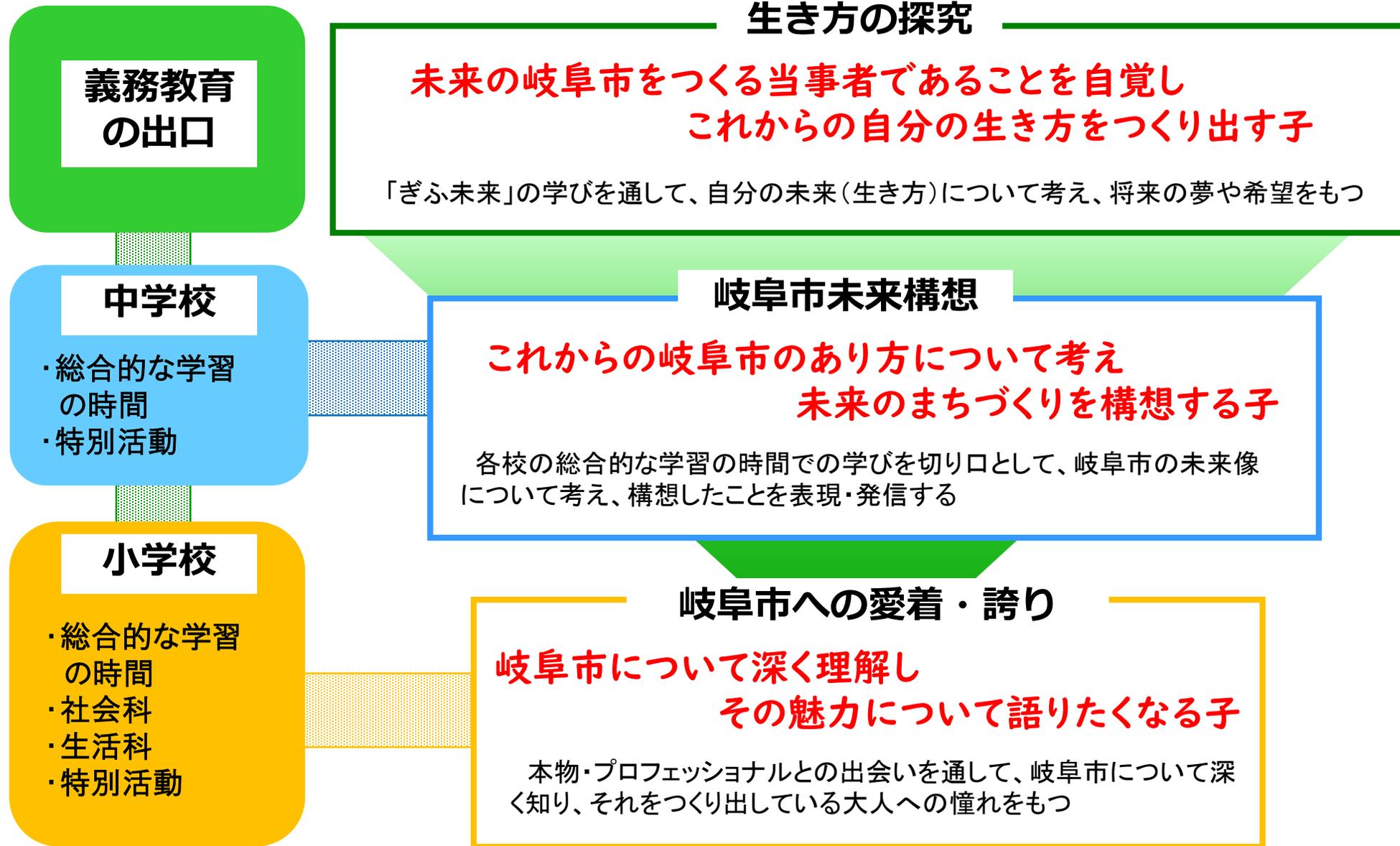
・人から学ぶ  
(対話、交流)

あこがれ



すべての子にとっての共通の学びの場: 岐阜市

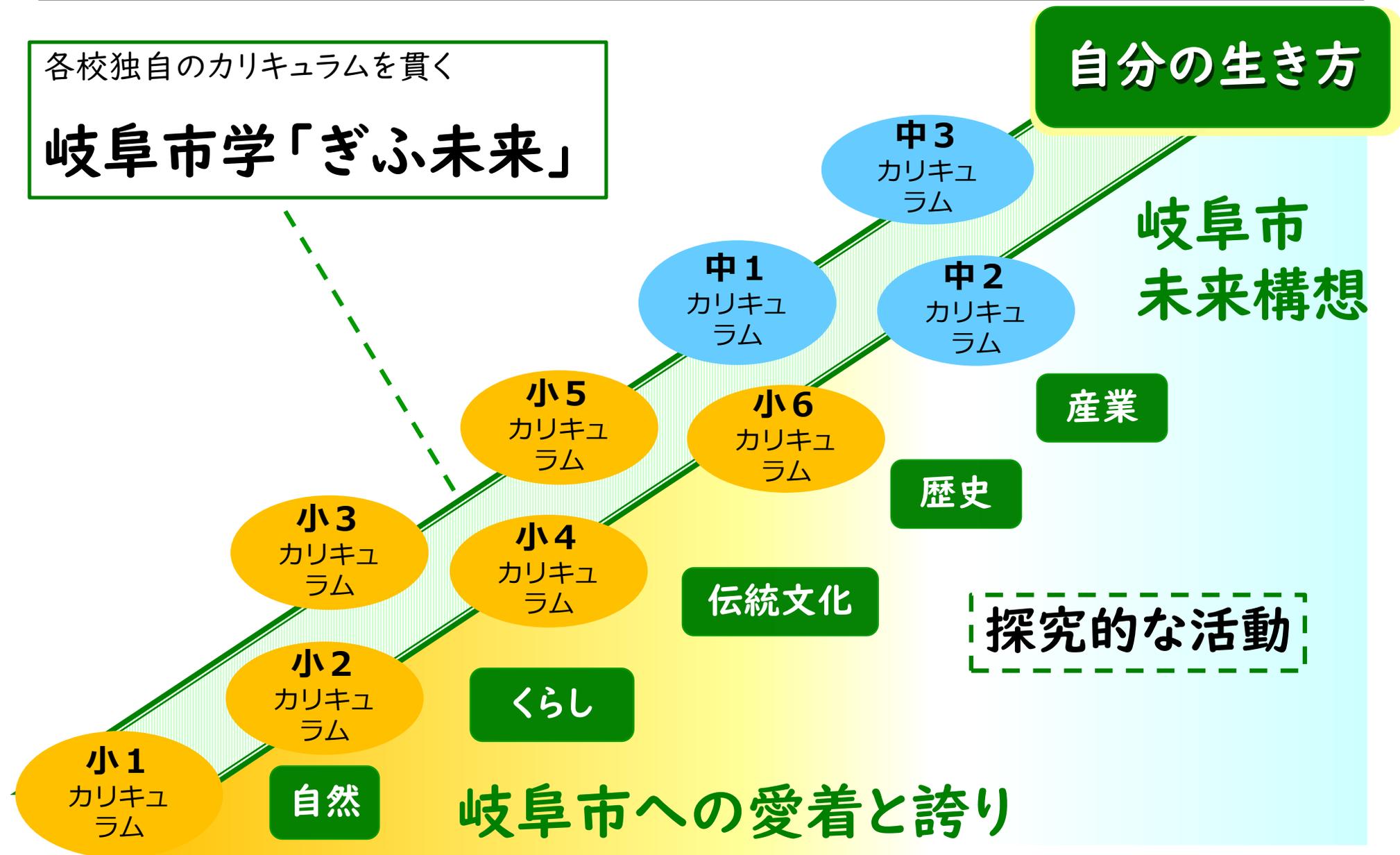
## 4-2. 岐阜市学「ぎふ未来」で目指す子どもの姿



## 4-2. 岐阜市学「ぎふ未来」で目指す子どもの姿

各校独自のカリキュラムを貫く

### 岐阜市学「ぎふ未来」

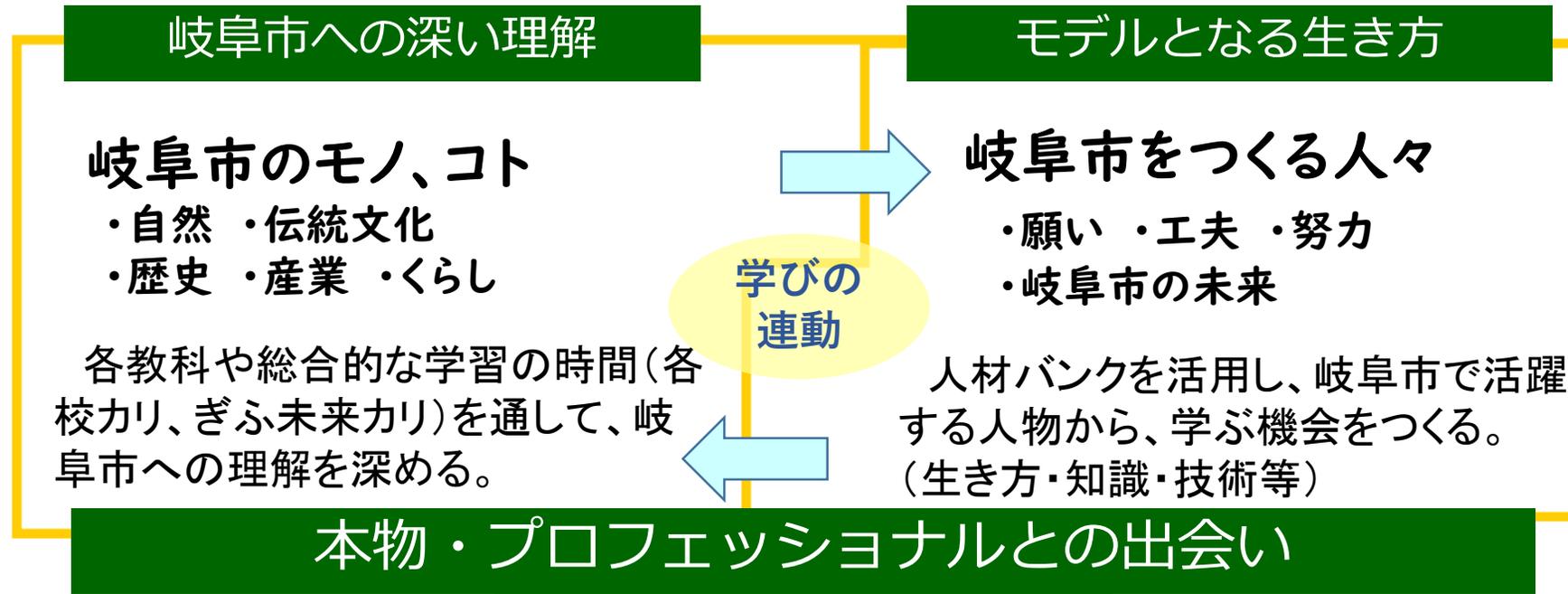


---

### 4-3. 岐阜市学「ぎふ未来」で学習する内容と方法

## 4-3. 学習内容

岐阜市未来の まちづくり構想		ぎふ未来の学び	
持続可能で選ばれる まち		中1 ～ 中3	<b>総合的な学習の時間 特別活動</b> <b>岐阜市の課題解決に向けた探究的な活動を通して、よりよいまちにするための構 想をもつ</b> ・自分の生き方を見つめ直す場の設定 ・My岐阜市未来構想のプレゼン(成果発表) ・各校カリキュラム、地域資源、小学校の学び をベースにした探究的活動
	まちに関わろ うとする想い	小6  小5	<b>総合的な学習の時間 「ぎふ未来カリキュラム(仮)」 特別活動</b> <b>岐阜市の特色を発展的に学び、市への愛着と誇りを深め、関わりをもとうとする</b> ・自然を守る人々    ・伝統文化を守る人々    ・歴史を守り伝える人々 ・産業を支える人々    ・教育をつくる人々    ・魅力をつくり発信する人々
シビック プライドの 醸成	市への愛着と 誇り	小4  小3	<b>総合的な学習の時間 社会科 特別活動</b> <b>岐阜市の特色を学び、市への愛着と誇りをもつ</b> ・校区の特色    ・岐阜市の土地利用    ・岐阜市の産業(農業・商業・工業) ・くらしを守る仕組み(消防・警察)    ・岐阜市のうつりかわり ・くらしを支える仕組み(ごみ・水道)    ・岐阜市の伝統、文化、行事 ・先人の営み
	地域への愛着 と誇り	小2  小1	<b>生活科 特別活動</b> <b>身近な地域のよさに気付き、校区への愛着と誇りをもつ</b> ・校区の自然    ・校区にある公共施設 ・校区で働く人々



**【学びを豊かにするコンテンツ】**

- ・「わたしたちの岐阜市」
- ・君が夢を拓くプロジェクト
- ・ぎふ未来カリキュラム(仮)
- ・ぎふ未来人材バンク(仮)
- ・コンパスカリキュラム
- ・岐阜市刊行物
- ・チュースク
- ・ぎふ未来アーカイブ(仮)

岐阜市未来のまちづくり構想		ぎふ未来の学び	
持続可能で選ばれるまち	中1～中3	総合的な学習の時間 特別活動 岐阜市の課題解決に向けた探究的な活動を通して、よりよいまちにするための構想をもつ ・自分の生き方を見つめ直す場の設定 ・My岐阜市未来構想のプレゼン(成果発表) ・各校カリキュラム、地域資源、小学校の学びをベースにした探究的活動	シビックプライドの醸成
	小6 小5	総合的な学習の時間 特別活動 「ぎふ未来カリキュラム(仮)」 岐阜市の特色を発展的に学び、市への愛着と誇りを深め、関わりをもとうとする ・自然を守る人々・伝統を守る人々 ・文化を守る人々・歴史を守り伝える人々 ・産業を支える人々・教育をつくる人々 ・魅力をつくり発信する人々	
まちに関わろうとする想い	小4 小3	総合的な学習の時間 社会科 特別活動 岐阜市の特色を学び、市への愛着と誇りをもつ ・校区の特色・岐阜市の土地利用 ・岐阜市の産業(農業・商業・工業) ・くらしを守る仕組み(消防・警察) ・岐阜市のうつりかわり ・くらしを支える仕組み(ごみ・水道) ・岐阜市の伝統、文化、行事 ・先人の営み	
市への愛着と誇り	小2 小1	生活科 特別活動 身近な地域のよさに気付き、校区への愛着と誇りをもつ ・校区の自然・校区にある公共施設 ・校区で働く人々	
地域への愛着と誇り			

### 【学びを豊かにするコンテンツ】

- ・「わたしたちの岐阜市」・コンパスカリキュラム
- ・君が夢を拓くプロジェクト・岐阜市刊行物
- ・ぎふ未来カリキュラム(仮)・チュースク
- ・ぎふ未来人材バンク(仮)・ぎふ未来アーカイブ(仮)

## 生き方の探究

**未来の岐阜市をつくる当事者であることを自覚し  
これからの自分の生き方をつくり出す子**  
「ぎふ未来」の学びを通して、自分の未来(生き方)について考え、将来の夢や目標をもつ

## 岐阜市未来構想

**これからの岐阜市のあり方について考え  
未来のまちづくりを構想する子**

各校の総合的な学習の時間での学びを切り口として、岐阜市の未来像について考え、構想したことを表現・発信する

## 岐阜市への愛着・誇り

**岐阜市について深く理解し  
その魅力について語りたくなる子**

本物・プロフェッショナルとの出会いを通して、岐阜市について深く知り、それをつくり出している大人への憧れをもつ

## 岐阜市への深い理解

### 岐阜市のモノ、コト

- ・自然・伝統文化
- ・歴史・産業・くらし

各教科や総合的な学習の時間(各校カリ、ぎふ未来カリ)を通して、岐阜市への理解を深める。

## モデルとなる生き方

### 岐阜市をつくる人々

- ・願い・工夫・努力
- ・岐阜市の未来

人材バンクを活用し、岐阜市で活躍する人物から、学ぶ機会をつくる。  
(生き方・知識・技術等)

学びの連動

## 本物・プロフェッショナルとの出会い

---

## 4-4. 今後の見通し ~Road Map~

#### 4-4. Road Map

##### ●ワーキンググループの開催(年3回)

	氏 名	所 属
有識者	服部 吉彦	中部学院大学教育学部 子ども教育学科 教授
有識者	向井 貴彦	岐阜大学地域科学部 教授
地域代表	末永 三樹	株式会社ミュキデザイン 代表取締役
地域代表	堀江 弘美	岐阜市PTA連合会 会長
学校関係者	山崎 喜代子	長森北小学校 校長
学校関係者	坂井 祐一郎	三輪中学校 校長
市	林 素生	ぎふ魅力づくり推進部 次長

### ●第1回ワーキンググループ(7/11)でいただいた意見

- ・課題点だけでなく、岐阜市の子どもたちの「良さ」に目を向け、伸ばすことも大切ではないか。
- ・中学校では「志」をもつこと(=自分はどんな人間になりたいか)を指導している。職業をイメージする「夢や目標」ではなく、「志」を聞けば、高い結果が得られるかもしれない。
- ・各小・中学校でカリキュラムがあるなかで、どの学校にも共通するベース(岐阜市学)があることは大切だと思う。
- ・目指す子どもの姿をより具体的にする。例えば、「将来岐阜市について2時間語ることができる子」など。
- ・岐阜市は広く、校区の環境はそれぞれ違う。子どもたち一人ひとりの興味・関心も違う。だからこそ、画一的な学習にならないようにしたい。
- ・子どもたちには、いろいろな大人に出会ってほしい。生の人に出会うことで、子どもたちが感じることがあるはず。

#### 4-4. Road Map

7月	・第1回ワーキンググループ(11日) ・総合教育会議(21日)
8月	・第2回ワーキンググループ 先行市町村講師による講話
9月	・第3回ワーキンググループ ・ぎふ未来カリキュラム(5・6年生)作成
10月	・ぎふ未来カリキュラム(5・6年生)作成
11月	・先行実施(抽出小学校or全小学校) アンケートによる検証
12月	・校長会提案
1月	・先行実施(抽出中学校or全中学校) アンケートによる検証
2月	・先行実施の検証 ・岐阜みらいカリキュラムの見直し

## 5. 本日の協議の流れ

- 事務局及び招聘者からの説明を踏まえ、以下の事項について、ご協議いただきたい

協議の流れ	
(1) 事務局説明	● 現状分析及び施策検討の視点(及び施策素案)の提示
(2) 招聘者説明	● 長良川で営む川漁、和船を活用した自然体験事業の紹介 ⇒子どもたちが地域や大人のリアルに触れる中で、社会を自分ごととしてとらえ、夢や目標をもつための示唆
(3) 意見交換	ご協議いただきたいこと <ol style="list-style-type: none"><li>1. <u>デジタルとリアル</u>のよさを活かした<u>学びの在り方</u>について</li><li>2. <u>岐阜市学「ぎふ未来」</u>の取組を推進していくにあたり <u>必要な視点</u>について</li></ol>